

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和2年度実施分

施設名	青梅市子育て支援センターはぐはぐ		
指定管理者名	特定非営利活動法人青梅こども未来		
指定管理期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	担当課	子ども家庭支援課
設置目的	子育てと子どもの健やかな成長を支援する場を提供し、子育ての支援と児童福祉の増進を図る		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	担当課評価	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	月報 シフト表	A	業務の履行、事業計画に基づき管理している。 人員配置は、広い敷地の管理として常時4人体制を求め承認されているが、予算に反映されていない。	A
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書 月報	S	協定書を遵守し締め切りまでに報告している。	A
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	現地調査 点検報告書	A	広い敷地内をモニター及び目視で確認している。南側玄関が事務所より距離があるので、廊下からプレイルームへの引き戸は常時安全確保の為閉鎖している。 センター利用者だけでなく、新町クラブの利用者の出入りや共有スペースもあるので、常に気を配っている。 駐車場は隣接する保育園保護者による送迎および新町クラブ利用者が使用、さらに道路を挟んだ寺院の訪問者の無断駐車が時折見受けられるため、常時、利用者が安全に使用できるよう配慮している。	A
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	現地調査	S	個人情報の書類(利用者票、相談記録等)は必ず鍵付きの戸棚・引き出しに保存し3ヶ月以上の物はシュレッダーで処理をしている。	A
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	現地調査	S	管理・業務日誌は、毎日作成PC保存している。紙媒体としても保管している。	A
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	緊急連絡網 緊急時対応マニュアル	S	事故と災害時とそれぞれのマニュアルを作成している。	A
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	事業報告書	S	利用者参加の訓練は年に2回開催。消防署の救急救命講習も年に1度受けている。	S
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	現地調査	S	建物や器具の破損・物品の紛失は特にないが、かなり老朽化が進んでいるため苦慮しながらも適正な管理に努めている。	S	

事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月9日より5月31日まで緊急事態宣言のため臨時休館となり、電話での相談業務となった。この期間の行事は中止。開館となった6月1日から利用が1時間半ずつとなり、事業もそれに合わせ縮小したり、工夫して新たな事業を考えたりした。	A
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告書 月報			
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	アンケート実施 結果報告書	S	8/1~9/12までコロナ禍での利用について保護者用アンケートを実施し利用者の意見の収集をした。	S
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート実施 結果報告書 現地調査	S	アンケート結果は良好であるが、職員研修を怠らず、常にサービスの質の向上を目指している。	S
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート実施 結果報告書 現地調査	S	要望・意見に対しては、アンケート結果を冊子にまとめ館内閲覧し、改善箇所があれば対処している。	S
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告書 月報	S	管理・業務日誌にて報告している。 包括支援センターの中の一つとして、年に4回の会議で情報や共通認識を持てるようにしている。	A
その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書 現地調査	A	小中学生の居場所として、アナログゲームを紹介し広めてきた。グループで遊びに来ている子どもにはもちろん、1人で来ている子どももグループに誘い、コミュニケーションのとれる広場を作ってきた。 しかし、コロナ禍で小学生の受け入れがなかなかできず、10月17日から、各時間10人ずつ土日午後のみ受け入れることになった。少しずつ利用は増えているという	A	
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	会計簿 事業報告書	S	パソコンは会計と事務とは分けてあり、それぞれ担当が適切に保存している。	A
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	会計簿 事業報告書	S	現金の管理の鍵は2段階で管理している。	A
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	会計実績報告書	A	職員賃金、消耗品の予算不足のため、赤字決算となっている。	B
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	財務諸表	B	コロナ禍で活動休止となったスタッフへの給付金支給のため。	B
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	財務諸表	S	適正に行われている。	A
	流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	財務諸表	S	適正に行われている。	A	

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
S	14
A	5
B	1
C	0

記入欄

◆業務履行

・業務体制について

①職員体制と人件費

・平成28年度より4名の子育て支援員の体制が認められたものの、未だに常勤者法定労働時間外支援職員37日分の人件費が予算の中に組み込まれていないので、組み込んでいただきたい。

・午前8時半からの清掃は、広い館内と館外の駐車場・フェンス回りなど、4名でもかなりの時間を要するが、3人体制だと物理的に開館時間を30分過ぎでも終わらない状況が生じている。

・東京都の利用者支援員研修を受講し認定を受けたスタッフは8名。支援員は毎日1～2名は在勤しており、利用者の軽度な悩み等にその場で対応できている。

・指定管理を請けた初年度から10年以上勤務している職員もいるが、最低賃金のまま役務手当をつけられない状況が続いている。
経験と研鑽を積んだ職員が賃金を理由に転職することのないよう、また若い職員が働く意欲を欠くことのない人件費予算が必要である。

・各種書類作成等に関する事務仕事を子育て支援員が兼務しているため、子育て支援員としての本来の業務に専念する事が難しくなっている。
専任事務員を1名置きたいが、現在の人件費予算額では無理な状態であり、毎年度の課題となっている。

・毎年東京都の最低賃金が上がり、その都度最低賃金UP分は補填されているが、現状の人件費の予算では到底賄いきれなくなってきた。

②館内環境

小学校低学年までの利用を前提に設計した施設において小学校高学年・中学生・高校生の利用も認めていることから、乳幼児と小・中・高校生が安心して安全に遊ぶ館内環境とは言い難いが、職員の見守り丁寧なや声かけを行うことにより、安全な運用が確保出来ている。小学校高学年・中学生・高校生が集える什器等が整った環境づくりを行政に望みたい。

③安全管理

現在のところは管理責任者を中心に、安全管理体制・運営体制を整え職員一丸となって、精一杯の努力をしている。

◆維持管理

・清掃、修繕、安全性、警備について

①館内の警備には常に細心の注意をはらっている。人の出入りの確認は、目視及びモニターで常時行っているが、安全のために入り口を1か所にしたい。
自治会館が同じ施設内にあるため、子育て支援センターでは把握しきれない利用があり、安全管理の限界を感じている。
(自治会館利用者は支援センター開館時の利用の際は、その旨を事務所に伝えに来ている)
開館時に行われる月2回の資源回収および自治会館使用中の支援センター利用者の安全確保、共用スペースである洗面・トイレ等の衛生管理に特に注意をはらっている。自治会担当者との連絡は密にとっているものの、急な対応が必要な場面も生じている。
普段よりトイレ清掃は、1日2回(朝夕)入念に実施し、また、新町クラブ利用者の使用後は必ず点検、コロナ禍においての各消毒時間には、必ず点検、ドアノブなど接触部分を中心に消毒を行い衛生管理をしている。プレイルーム、ベビー&キッズルームなどの各フロアも消毒のための閉館時間には、使用済みおもちゃの消毒、フロアの消毒、荷物置き場、廊下、手すりなどを消毒・点検している。

②館内のみならず、南側と北側にある駐車場及び駐輪場の管理、保全については、常時3～4名の職員であたっている。
業者には年3回の草取り・植栽の手入れを委託している。季節によっては、職員も利用者の少ない時間に草取り・植栽の手入れをしているが、樹木が成長が著しくスタッフでは手に負えない状況である。生い茂った樹木に蜂や蚊等の虫が集まり、利用者および隣接する新町保育園の園児にも危害が及ぶ可能性がある
ある。北駐車場の保育園フェンス側の金木犀も背丈が大きくなり保育園でのプールの時期の虫による被害が懸念される。

③建物屋上は以前より水はけが悪く、本年度は隣の保育園からも屋上に水が溜まっていることを指摘された。害虫がわく事のないよう水はけをよくしてほしい。

④令和2年度は、開館時に利用者を含めた避難訓練を2回(9月・3月)実施した。

◆その他

①利用者が行政と指定管理者を信頼して利用している。

②利用者の声を担当管轄部署に速やかに届けることができる。

③子育て世代包括支援センター開設に伴い、東京都利用者支援員研修を受けた8名が、子育て中の利用者(保護者)と自然な形で関わることが出来るので、

利用者は気軽に子育てに関する相談等を行う事ができ、軽度の子育ての悩みなどは「話すこと」で軽減出来ている模様。また、抱える問題が大きいと職員が

判断した際には、すぐに相談員に繋ぐことが可能なので、専門家による親子の支援が素早く出来る。

市内・近隣市町村の保育園・幼稚園や子育て広場・サークルなどの子育て支援情報を収集し、利用者からの問い合わせに対応できるようにしている。

職員の対応、行事等が好評であり、口コミで他市からの利用者も多い。利用者からは子ども同士で来てても楽しく安心して遊べる環境であり利用しやすいとの意見をいただいている。

④感染症(インフルエンザ・コロナ等)の予防のため、特に小・中・高校生のための「手洗い用の水道」が必要である。

また、乳幼児が多く利用する施設という面から館内の衛生環境を保つため「館内に入る前に手洗いができる屋外の洗い場」の設置が望まれる。

⑤安全確保のための環境整備を整えるためには、現行の月1回の休館日では足りないと判断する。

近隣市町村での子育て支援センターの運営状況をリサーチすると、同規模の施設では、月2回の休館日が確保されている。利用者の安全・安心確保のため

最低月2回の休館日の設定を望む。

⑥年度末より、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、館内やおもちゃの消毒に使うアルコールや職員のマスク等の不足など、消耗品費も今まで以上に費用がかさんできている。

2 市の評価、意見等

評点	数
S	5
A	13
B	2
C	0

記入欄

・青梅市子育て支援センターはぐはぐの指定管理者として、長期にわたり管理・運営を担ってきた実績があり、安全・安心な運営がなされています。
・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、利用者等の検温・手消毒の実施、施設内の換気や遊具等の消毒するなどの利用者が安全・安心して利用できるよう衛生管理がされていた。